



第4章



4-1 共に生きる平和なまちづくり

年齢や性別、国籍などのちがいにとらわれず、お互いの存在を理解し尊重しあって、共に生きる平和な社会の実現に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)非核平和都市の実現をめざします	1事業
①非核平和意識の高揚	
非核平和事業	人権政策課 人権政策課
(2)同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関する差別の解消を図り、人権文化の創造を進めます	2事業
①人権教育・啓発の推進	
②相談・支援体制の充実	
③虐待予防・防止対策の充実	
人権平和センター運営・管理事業	人権政策課 人権政策課
人権施策の推進	人権政策課 人権政策課
(3)男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めます	1事業
①すべての人へのエンパワーメントの支援	
②あらゆる分野での女性活躍の推進	
男女共同参画計画の推進	人権政策課 人権政策課
(4)多文化共生のまちづくりを進めます	1事業
①多文化共生施策の充実	
②国際交流・国際協力活動の推進	
多文化共生施策の推進	人権政策課 人権政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	非核平和事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 非核平和都市の実現をめざします	総合計画掲載ページ	84
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○非核平和都市宣言の啓発普及を図るとともに、日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議と連携した活動に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○日本非核宣言自治体協議会の第39回総会及び役員会（5月・長崎市）、役員会（2月・書面開催）に出席し、会員都市との交流により情報収集などを行い、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めました。</p> <p>○設立から40周年を迎えた平和首長会議の第10回総会及び第10回国内加盟都市会議総会（10月・広島市）に市長が出席し、加盟都市との交流により情報収集などを行い、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めました。</p> <p>○非核平和宣言都市として、令和3年6月・9月に実施されたアメリカ合衆国の臨界前核実験に対する抗議文（4月）、長期化するロシアによるウクライナの一連の行為に対する抗議文（2月）を発出し、平和の大切さや核兵器の廃絶を訴えました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○日本非核宣言自治体協議会（昭和59年(1984年)8月5日加盟）、平和長会議（平成22年(2010年)3月1日加盟）の一員としての活動を通して、核兵器の廃絶と戦争のない平和な社会づくりに向けた取組みを進めることができました。引き続き、両団体の一員として取り組んでいきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自治体間ネットワーク活動参加回数	館内資料	回	3	3	4	数値	4
	考え方、定義、算出方法など	日本非核宣言自治体協議会および平和首長会議の総会、役員会・研修会等への参加回数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	人権平和センター運営・管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関わる差別の	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○人権平和センターで、相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所づくり事業、こども多世代ふれあい事業を実施します。また、登録サークル等の文化活動発表会等を、地域交流事業として行います。</p> <p>○市民一人ひとりの人権が尊重され、人権に根ざした文化の広がったまちを築いていくため、さまざまな人権啓発事業を実施するとともに、民間のボランティアである人権擁護委員との連携・活動協力や支援を行います。</p> <p>○平和で平等な社会づくりをめざしていくため、平和展示室を中心に、平和啓発事業を行います。</p> <p>○施設での事業の運営が円滑に進められるよう、施設の維持・管理を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所事業、こども多世代ふれあい事業を実施し、人権平和センターの施設管理および車両管理を行いました。また、人権平和センター一帯の老朽化した空調設備の更新に係る設計委託を行いました。</p> <p>○人権文化のまちづくりフェスタ（2～3月）を開催し、地域の人が出会い、人権文化のまちづくりを進める機会となりました。</p> <p>○豊中市立人権平和センター業務委託事業者選定評価委員会を開催しました。</p> <p>○人権パネル展（5月・11月）を開催し、市民の人権に対する理解や関心を高めることに寄与しました。既存の人権啓発パネルの追加として、新たに2テーマ制作しました。</p> <p>○市の受託事業者を対象に、企業内の自主的な研修を促進する一助として人権問題学習会（8月）を開催し、人権問題について理解と認識を深める学習の場を提供しました。</p> <p>○12月10日の「人権デー」や世界人権宣言、人権文化のまちづくりをすすめる条例などの普及活動を行い、市民の人権に対する理解や関心を高めることに寄与しました。</p> <p>○人権擁護委員による人権相談（毎月2回）や人権啓発活動を実施しました。</p> <p>○平和展示室での常設・企画展のほか、市が定める8月の平和月間に講演会等を開催し、平和の大切さや核兵器の廃絶を広く訴え、市民の平和意識の醸成を図りました。</p> <p>○豊中空襲等の体験者の証言を映像資料として記録（7組・8人分）したほか、市民から戦争遺品の寄贈を受け付け、戦争を知らない世代へ平和の大切さなどを語り継いでいくことにつながりました。</p> <p>○平和展示室ボランティア「語り継ぐ会」および大阪大学大学院人文学研究科現代日本学研究室との連携により、収蔵品資料の読み解き等を行い企画展を実施したほか、兄弟都市沖縄市との交流事業としてオンライン講演会を開催し、市民の平和意識醸成につながりました。</p> <p>○市内の公園内にその地域の空襲被害を伝える説明板を設置し、市民がその歴史を通じて平和の大切さを考えることにつながりました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○人権平和センターでは、相談及び人権・平和啓発事業、こどもの学び・居場所事業、こども多世代ふれあい事業を実施することで、人権情報発信の拠点として、人権などに係る相談や多様化・複合化する人権課題及び非核平和にかかる啓発を推進し、人権文化のまちづくりをすすめることができました。今後、相談事業については、相談内容の複雑化・多様化に対応するため、関係機関との連携強化を図るとともに、生涯学習事業を通して、参加者への平和・人権尊重の精神の視点の共有化を図ります。また、こども事業については、子どもたちの安全・安心無き場所づくりや学習支援の場を進めていくにあたり、小中学校や関係部局等と連携していきます。</p> <p>○登録サークル等の文化活動発表会等を通じて、地域の人が集い、出会うことにより、つながりを深め人権文化のまちづくりを共にすすめることができました。今後は事業の参加者へ平和・人権尊重の視点の共有化を図ります。</p> <p>○市民向けの講演会やパネル展、事業者向けの学習会を開催するなどし、人権に対する理解や関心を高めることにつながりました。今後も興味・関心をもって参加してもらえるよう、事業内容を工夫し、啓発事業を継続していきます。</p> <p>○豊中空襲等の体験者の証言を映像資料として記録したほか、公園内に空襲被害の説明板を設置、戦争遺品の寄贈を受け付けるなどし、失われつつある戦争体験を次世代へ継承する一助としました。また、平和展示室での展示や平和月間事業の実施、市民ボランティアや大阪大学との連携により、平和の大切さや核兵器の廃絶を訴え、市民の平和意識の醸成を図ることにつながりました。戦争体験者が減少していく中、語り継いでいく取組みを継続します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	相談件数（人権相談、総合生活相談）	担当館調べ	回	323	348	183	数値	500
	考え方、定義、算出方法など	人権侵害や地域住民の生活上のさまざまな課題や問題について受けた相談件数							
2	目標	平和展示室来場者数	担当館調べ	人	699	2,902	2,581	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など	平和展示室（常設展示・映像室・企画展示）への来場者数							
3	目標	こどもの学び・居場所事業」事業回数	担当館調べ	回	300	377	391	数値	400
	考え方、定義、算出方法など	学びの場づくり事業、見守り・寄り添い活動の場事業の実施回数							
4	目標	「こども多世代ふれあい事業」事業回数	担当館調べ	回	479	637	675	数値	550
	考え方、定義、算出方法など	学習クラブ、交流・体験学習、多世代ふれあい事業の実施回数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	世界人権宣言、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権教育・啓発に関する基本計画、ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府人権尊重の社会づくり条例、大阪府人権施策推進基本方針、大阪府人権教育推進計画、ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	人権擁護都市宣言、人権文化のまちづくりをすすめる条例、豊中市人権行政基本方針、ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	77,734	人件費（参考）	44,345				
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	18,043				
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	81,683	国・府支出金	21,536				
	決算額	75,731	地方債	0				
	残額	5,952	その他 特定財源	485				
	執行歩合	92.71%	一般財源	53,710				
			財源内訳の					
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	人権平和センター豊中改修事業【継続】	0	0	0	0	01	人権平和センター整備	
	相談及び人権平和啓発事業【継続】	24,318	17,853	0	6,465	01	人権平和センター費	
	学び・居場所事業【継続】	14,321	0	0	14,321	01	人権平和センター費	
	子ども多世代ふれあい事業【継続】	12,683	0	0	12,683	01	人権平和センター費	
	人権平和センター豊中施設管理【継続】	10,024	0	0	9,634	01	人権平和センター費	
	人権平和センター豊中車両管理【継続】	191	0	0	191	01	人権平和センター費	
	地域交流事業【継続】	39	0	0	39	01	人権平和センター費	
	人権平和センター螢池施設管理【継続】	9,011	2,558	0	6,358	01	人権平和センター費	
	人権平和センター螢池車両管理【継続】	195	0	0	195	01	人権平和センター費	
	人権啓発事業【継続】	314	23	0	291	01	一般管理費	
	人権擁護委員【継続】	1,456	1,102	0	354	01	一般管理費	
	人権平和センター螢池改修事業【新規】	3,179	0	0	3,179	01	人権平和センター整備	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	人権施策の推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 同和問題をはじめ、さまざまな人権課題に関わる差別の	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる条例や豊中市人権行政基本方針等に基づき、すべての行政分野が基本的な人権の尊重と深くかかわっているとの認識のもと、市の日常業務の遂行にあたって、人権尊重の視点の意識化を図るとともに、さまざまな事業を通して、人権文化のまちづくりをすすめます。</p>
当該年度の実績	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる協議会の開催（6月・2月） ○同和問題解決推進協議会の開催（9月・1月・2月） ○人権月間事業として講演会を開催（11月。新型コロナウイルス感染症の影響により5月の憲法月間事業を中止）し、憲法の精神などの普及啓発を図り、市民が憲法の理念である平和主義、国民主権、基本的人権の尊重を考えるきっかけとなりました。 ○市と市教育委員会、市民団体等で構成する実行委員会形式により「ひゅうまんプラザ」を企画、開催（2月）し、市民と行政の協働による人権啓発の推進を図り、同和問題をはじめとした人権課題の解決に向けて寄与しました。 ○市民団体等への事業補助や大阪府内自治体との連携をすすめるとともに、人材育成のため全国集会等の研修会へ職員を派遣し、人権文化のまちづくりに寄与しました。 ○前年度改定した同和行政基本方針を周知するとともに、職員向けに、同和問題をテーマとした研修教材及び部落差別事象発生時の対応マニュアルを作成し、同和問題に対する理解と認識を深めることに寄与しました。 ○店舗・作業所の適切な管理運営を図るため、施設の維持管理を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○人権文化のまちづくりをすすめる協議会及び同和問題解決推進協議会を開催し、人権文化のまちづくりをすすめるための方向性を確認することができました。引き続き、社会情勢や市内の課題に応じた意見聴取を行い、今後の市の取組みに生かしていきます。 ○同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決に向けて、人権月間事業や「ひゅうまんプラザ」講演会を開催するなどし、人権課題に対する市民の関心と理解を深めることに寄与しました。より多くの人に関心をもってもらうことが課題であり、今後も企画内容を工夫するとともに、適切な情報発信を行います。 ○前年度改定した同和行政基本方針を周知するとともに、職員向けの研修教材や部落差別事象発生時の対応マニュアルを作成し、職員の同和問題に対する理解と認識を深めることに寄与しました。若い世代の職員の中には、学校教育で同和問題を十分に学んでいない職員もいることから、基本的なことから学べるような研修のしくみと市民啓発の手法について検討を進めます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	人権文化のまちづくりをすすめる協議会開催回数	市政年鑑	回	2	2	2	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	人権文化のまちづくりをすすめる協議会の開催回数							
2	目標	同和問題解決推進協議会開催回数	市政年鑑	回	2	3	3	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	同和問題解決推進協議会の開催回数							
3	目標	「憲法記念市民のつどい」参加者数	市政年鑑	人	181	156	160	数値	490
	考え方、定義、算出方法など	「憲法記念市民のつどい」への参加者数							
4	目標	「ひゅうまんプラザ」参加者数	市政年鑑	人	66	51	97	数値	100
	考え方、定義、算出方法など	「ひゅうまんプラザ」への参加者数。同和問題解決に向けての議論の場や交流の場を積極的に設けます。							
5	目標	全国集会等派遣職員数	担当課調べ	人	5	4	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	部落解放研究全国集会、部落解放・人権夏期講座、人権啓発研究会等への参加職員数							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	男女共同参画計画の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めます	総合計画掲載ページ	85
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○一人ひとりの人権を尊重し合いながら、男女が社会のあらゆる分野に対等に参画し、性別にかかわらずなく、その個性と能力を十分に発揮することのできる「男女共同参画社会の実現」をめざすために、次の取組みを進めます。</p> <p>○人権尊重と男女共同参画への意識改革のために、男女共同参画の教育・学習の推進及び理解促進・啓発を行います。</p> <p>○あらゆる暴力の根絶のために、相談窓口の充実と暴力防止啓発、DV相談体制の充実と連携・協力を進めます。</p> <p>○すべての人へのエンパワーメントの支援のために、さまざまな困難を抱える人々への支援を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○豊中市女性の活躍促進支援事業の実施（経営者・管理職を対象とした連続セミナー計4回 参加延べ人数29人、女性社員を対象とした連続セミナー計4回 参加延べ人数26人、事業者へのアドバイザー派遣 6事業者）</p> <p>○女性の活躍推進を促す事業所等の登録・認証制度の設計</p> <p>○【拡充】小・中学生を対象としたジェンダー平等教育啓発教材「With you」の作成</p> <p>○暴力被害女性等緊急一時保護事業の検討</p> <p>○就職面接用スーツの貸出事業</p> <p>○生理用品の購入が困難な女性の窓口</p> <p>○とよなか男女共同参画推進センター事業（男女共同参画に関する情報の収集・提供、相談、交流の場の提供、講座等の開催、調査・研究など）について、指定管理業務のモニタリングや指定管理者との協議、連絡、調整</p> <p>○男女共同参画推進センターの施設管理</p> <p>○男女共同参画推進センター空調設備更新工事</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○経営者・管理職、及び女性社員向けセミナーの開催、各事業所へのアドバイザー派遣により、市内事業所における女性の活躍促進支援を図りました。今後は女性社員だけでなく男性社員も女性の活躍促進支援に取り組んでいただくために社員向けの対象を広げていきます。</p> <p>○市内事業所等に女性の活躍推進を促すことを目的に、女性の活躍推進を促す事業所等の登録・認証制度を設計しました。</p> <p>○小・中学生を対象としたジェンダー平等教育啓発教材「With you」を作成し、若年層に対するジェンダー平等教育を推進しました。</p> <p>○暴力被害女性等緊急一時保護事業の検討により、様々な事情を抱えるDV被害者等の安全を確保し、新たな生活の再開に向けた準備を行いました。</p> <p>○就職面接用スーツの貸出事業、生理用品の購入が困難な女性の窓口の設置により、困難な問題を抱える女性の生活支援を行いました。</p> <p>○男女共同参画推進センター空調設備更新工事により、利用者のサービスの向上を図りました。</p> <p>○とよなか男女共同参画推進センターすてつ指定管理業務締結の中間年を迎えるため、選定評価委員会を設置し、評価業務を行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	審議会等の女性委員の割合	担当課調査	%	29.9	31.5	32.8	数値	40
	考え方、定義、算出方法など	政策・方針決定過程への女性の参画促進は、男女共同参画の現状を示す重要な指標であるから。							
2	目標	女性委員のいない審議会等の数	担当課調査		5	2	0	数値	0
	考え方、定義、算出方法など	政策・方針決定過程への女性の参画促進は、男女共同参画の現状を示す重要な指標であるから。							
3	目標	市民、市職員などを対象とした件数の実施回数	担当課調査	回	12	6	10	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	男女共同参画への意識の改革に取り組むため、教育・学習や周知・啓発活動を行うため。							
4	参考	DV相談件数	担当課調査	件	835	860	690	数値	—
	考え方、定義、算出方法など	誰もが相談しやすい場づくりや、相談するという行為への抵抗なくすような理解を広める必要があるため。							
5	目標	男女共同参画推進センターの男女共同参画目的利用者数	すてつによる調査	人	18,009	10,392	8,421	数値	10,000
	考え方、定義、算出方法など	すてつは地域において男女共同参画を推進するための重要な役割を担っているから。							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	多文化共生施策の推進	区分	継続
施策の方向性	(4) 多文化共生のまちづくりを進めます	総合計画掲載ページ	86
担当部局・課	160100 人権政策課・人権政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○多文化共生指針に基づき、関係各課との連携を深めながら、外国人も誰もが住みやすいまちづくりをすすめるために、外国人市民のニーズに応じた施策を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○多文化共生に関する市民アンケート調査の実施 ○多文化共生のネットワーク会議の設置 ○【新規】ウクライナ避難者支援事業の実施 ○外国人市民会議の運営 ○外国人向け市政案内・相談窓口での案内・相談の実施 ○多文化共生施策推進連絡会議の運営 ○国際交流センター事業（国際交流に関する情報の収集及び提供、国際交流活動への住民の参加促進、国際理解推進、在住外国人に対する相談・支援など）について、指定管理業務のモニタリングや指定管理者との協議、連絡、調整などの実施 ○国際交流センターの維持管理 ○国際交流センター空調設備更新工事 ○広域連携（NATS）による講演会の実施など</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○多文化共生に関する市民アンケート調査結果から外国人市民と日本人市民の実態や意識、考え方などを分析し、外国人市民が病院へ行ったときに医師や看護師の説明がわからないと答えた人が2割弱いることや住んでいるまちの人たちと積極的に交流したいと考えている人が7割近くいるなどを把握することができました。今後は、アンケート結果を基礎資料とし、多文化共生指針の改訂を行う予定です。また、外国人市民に通訳を派遣し、生活支援を行っている外国人市民団体等へ補助金事業を行う予定です。 ○多文化共生のネットワーク会議を新たに設置し、地域で活動する外国人支援団体や外国人当事者などをつなぎ、今後の多文化共生のまちづくりについて意見交換を行うことができました。 ○外国人市民会議において地域で外国人市民が活躍するためのイベントやしぐみなどの具体的な方策について意見交換を行うことができました。今後、意見交換の内容を報告書にとりまとめ、市民委員から市長へ報告を行い、施策の検討を行います。 ○ウクライナからの避難者の受け入れ及び生活支援を行い、避難者が豊中市で安心して安全に生活することができました。 ○国際交流センター空調設備更新工事を完了し、市民へセンターの施設利用を安全・快適に再開することができました。 ○国際交流センター指定管理業務締結の中間年を迎えるため、選定評価委員会を設置し、評価業務を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	外国人市民会議開催回数	市政年鑑	回	3	3	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の会議実施回数							
2	目標	外国人向け市政案内・相談窓口相談件数	市政年鑑	件	1,769	1,493	2,697	数値	2,000
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の相談件数							
3	目標	国流センター事業の利用者満足度で大いに満足割合	指定管理者年度評価	%	83.1	84.1	91.9	数値	85
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。施設指定管理者の自己モニタリングより算定。							
4	目標	国流センター管理状況利用者満足度で大いに満足、満足の割合	指定管理者年度評価	%	76	81	92.3	数値	75
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。施設指定管理者の自己モニタリングより算定。							
5	目標	多文化共生施策推進連絡会議開催回数	担当課調査	回	2	2	1	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	過去の実績から設定、長期的に実績値の維持を目指す。年間の会議実施回数							



4-2 市民文化の創造

文化芸術活動の場や機会を充実させ、歴史・文化遺産を大切に受け継ぎ、魅力あふれる市民文化の創造に取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます	5事業
①文化・芸術にふれる機会や活動の場の提供	
②文化芸術センターの活用	
③“音楽あふれるまち豊中”の推進	
④歴史・文化遺産の保護・保存と活用	
⑤姉妹都市・兄弟都市との交流促進	
表彰・顕彰事業	都市経営部 秘書課
姉妹都市・兄弟都市交流事業	都市活力部 魅力文化創造課
市民ホール等運営管理事業	都市活力部 魅力文化創造課
文化行政の推進	都市活力部 魅力文化創造課
文化財保護事業	教育委員会 社会教育課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	表彰・顕彰事業	区分	継続
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	200200 都市経営部・秘書課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊中市に対する市民の愛着と誇りの高揚を図るため、市政の振興等に顕著な功績のあった者、市民の模範となるすぐれた善行若しくは市にとって榮譽となる功績のあった者を表彰します。また、社会の発展に卓越した功績があり、広く市民が郷土の誇りとして敬愛する者を名誉市民として選定するとともに、その功績等を顕彰します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○憲法記念日市長表彰式を教育表彰式と同時に実施するとともに、豊中かがやき大賞として、市にとって名誉となる功績のあった方を表彰しました。また、イベント等で出張名誉市民コーナーを出展するなど名誉市民の功績を顕彰しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○表彰や顕彰を通じて、市民の豊中に対する愛着と誇りの高揚を図るとともに、それらを広く発信することで、市の魅力向上を図りました。今後も規程に基づき、着実に進めていくとともに、顕著な活躍をした個人・団体には随時表彰していきます。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中かがやき大賞		件	3	2	4	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	姉妹都市・兄弟都市交流事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	89
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○アメリカ・サンマテオ市および沖縄市との姉妹都市・兄弟都市交流を推進し、友好を深めます。また、他都市との都市間交流事業を推進し、本市の魅力を発信します。</p>
当該年度の実績	<p>○【拡充】サンマテオ市姉妹都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の姉妹都市提携60周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げ、会議を2回開催しました。 ・サンマテオ姉妹都市協会と連携し、周年事業に関わるサポートスタッフを募集し、8人の応募がありました。 ・英語弁論大会を開催し、令和6年度の親善使節を2名選出しました。 ・サンマテオ市やサンマテオ市の協会とオンライン交流会を開催しました。 <p>○沖縄市兄弟都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市で開催されるピースフル・ラブロックフェスティバルや産業まつりに参加しました。 <p>○【拡充】山形市との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市で開催される世界の芋煮会フェスティバルに参加し、市のキャラクターマチカネくんのPRや市の魅力発信を行っている市公式Instagramのフォロワー数拡大に取り組みました。また、ストリートピアノを使用した「ふれあい緑地コンサート」では、山形市のPRブースを設け、山形市職員による市のPRや観光協会による芋煮の物販などの出店を行いました。 ・本市のセンチュリー交響楽団と山形交響楽団とのコラボ企画を山形市で開催しました。また、本市出身でストリートピアノ親善大使の西村由紀江さんが山形市の音楽イベントや動画作成に出演する際にマチカネくんも共演し、豊中市とのつながりをPRしました。

当該年度の成果・課題	<p>○サンマテオ市姉妹都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンマテオ市姉妹都市協会やボランティアスタッフなどと連携したことで、サンマテオと事業の方向性など調整が図れました。 ・60周年記念事業の実施に向けた事業内容を関連団体と連携して確定します。 <p>○沖縄市兄弟都市提携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流事業を実施するとともに対面での調整が図れたことで、周年事業に向けた方向性が確認できました。 ・引き続き、オンラインや対面での打合せを行い、周年記念事業の概要をまとめるとともに記念冊子や動画の制作準備に取り掛かります。 <p>○山形市との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形市で本市のPRを行うことで、豊中への関心を高め、訪れる機会の創出が図れました。 ・引き続き、本市の魅力を市外の方に発信する機会を継続・拡充していきます。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	目標	交流事業数	担当課調査	回	1			数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	英語弁論大会、親善使節受入、スポーツ交流（野球、サッカー等）、産業まつりの出展など実施した事業数							
2	参考	豊中・サンマテオ姉妹都市協会 会員数	担当課調査	人	69			数値	80
	考え方、定義、算出方法など	市民主体の交流を促進するため、新規会員の獲得を図る							
3	参考	沖縄市訪問回数	担当課調査	回	-			数値	2
	考え方、定義、算出方法など	市民交流を通じて両市の相互理解と信頼関係を築く							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	市民ホール等運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○指定管理者制度を導入し、文化芸術センター、ローズ文化ホール、伝統芸能館、市民ギャラリーの4館を一体的に管理運営することで、文化芸術活動に取り組む市民の発表や舞台芸術の鑑賞の機会を提供し、市民とともに文化芸術を新たに創造・発信していくことをとおして、心豊かな市民生活や活力ある地域社会の実現に寄与する拠点施設となることをめざします。</p> <p>○各施設の保全計画等に基づき、計画的な施設の改修を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○市民ホール等指定管理者による多種多様な文化芸術分野の自主事業を実施しました。</p> <p>○指定管理者と毎月1回、合計年12回モニタリング会議を実施しました。</p> <p>○指定管理業務にかかる年度評価を行い8月31日にHPにて公開しました。</p> <p>○ローズ文化ホールの改修工事設計を行いました。</p> <p>○伝統芸能館でパニックオープン自動ドアの修繕を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○市民ホール等指定管理者による民間のノウハウを活かした多種多様な文化芸術分野の自主事業を実施し、音楽イベントを中心に豊かな市民生活に寄与する事業を行うことができました。</p> <p>○モニタリング会議を行うことによって定期的に指定管理者と情報交換し、円滑な文化ホール等施設の運営を行うことができました。</p> <p>○新・豊中市指定管理者制度導入に関する指針に基づき、社労士や税理士の審査とともに指定管理業務評価を行うことで適切な指定管理業務運営ができました。</p> <p>○ローズ文化ホールは昭和63年オープン以来老朽化がすすんでおり、今年度工事設計等改修計画をすすめたことで令和5年の大規模改修工事実施につなげました。</p> <p>○伝統芸能館は老朽化がすすんでおり、災害時に自動的に開くパニックオープンドア機能の修繕を行い利用者の安全の確保を図りました。</p> <p>○市民ホール等指定管理者による、安全な施設運営と「豊中ならではの」事業展開を今後も引き続き実施します。現在の指定管理期間は令和8年3月までのため、令和7年度中に次期指定管理者の選定を行う予定です。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	文化行政の推進	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	210100 都市活力部・魅力文化創造課		
関連部局・課	210100 魅力文化創造課		

事業概要	<p>○「人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち豊中」の実現のため、市民が文化芸術に触れることができる機会を提供するとともに、文化芸術による都市魅力の創造や、次代を担う子どもへの事業展開など、文化芸術推進基本計画に基づく取組を推進していきます。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○所蔵作品展「豊中と四人の画家」を開催し、1,121人の来場がありました。</p> <p>○豊中市美術展を開催し、応募者が373人あり、うち247人が入選しました。また、展覧会には3,246人の来場がありました。</p> <p>○豊中市文化芸術祭を開催し、949人の来場がありました。</p> <p>○企画展「こどもかるたづくり」を開催し、講座26人、展覧会51人の参加者がありました。</p> <p>○文化芸術振興審議会を2回、助成金審査部会を2回開催しました。</p> <p>○市内の高校を対象に軽音楽フェスティバルを開催し参加8校、631人の来場がありました。</p> <p>○【拡充】市内の小学4年生、中学1年生を対象に舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ」を開催し、小学校35校、3,421人、中学校12校、1,825人の参加がありました。</p> <p>○こども園アーティスト派遣事業を1園、13回開催しました。</p> <p>○文化芸術振興助成金を9団体に助成しました。</p> <p>○【拡充】とよなか音楽月間（とよなか音楽月間10周年記念事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校3校、高等学校1校と日本センチュリー交響楽団によるコラボ演奏会を開催し、950人の来場がありました。 ・市内飲食店と演奏会を開催し、2店舗のべ100人の来場がありました。 ・「0さいからのコンサート」を開催し、165人の来場がありました。 ・子ども向け音楽イベント10件に助成しました。 ・まちなかクラシックを10会場12公演開催し、のべ933人の来場がありました。 <p>○世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭を開催し、ワークショップのべ91人、音楽祭120人の参加がありました。</p> <p>○似顔絵ジャパングランプリを開催し、441人の来場がありました。</p> <p>○障害者授産施設商品化事業としてワークショップ等をのべ5回実施しました。</p> <p>○豊中まつりを開催し、のべ約21万人の来場がありました。</p> <p>○【拡充】NFTアートイベント「Toyonaka Art Connection」を開催し、200人の参加があり</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○所蔵作品展、豊中市美術展、企画展、文化芸術祭を実施した結果、多くの方にアートに触れる、また、文化芸術に触れるきっかけづくりが出来ました。引き続き機会を創出していきます。</p> <p>○文化芸術振興審議会では今後の市の助成金の在り方や課題につき意見をいただきました。より効果的な助成金事業に向けて意見を反映させていきます。</p> <p>○小中学生舞台芸術体験事業、高校生軽音楽フェスティバルを実施することで、音楽に親しむ、取り組むきっかけづくりが出来ました。次代を担う人材を育成していくため継続して実施していきます。</p> <p>○こども園アーティスト派遣では5歳児クラスに1年を通してレジャレミア教育を取り入れた幼児教育を行いました。引き続き実施していきます。</p> <p>○文化芸術振興助成金では当市の文化芸術活動を振興する活動につき助成金を支給しました。令和5年度は子どもがより主体となるような事業や文化芸術の新たな魅力を発見する事業を支援します。</p> <p>○とよなか音楽月間では、10周年記念として大々的にPR活動を行い、多くの事業を実施した結果、市内外に「音楽あふれるまち とよなか」をアピールし、また、音楽を親しむ機会を多く創出出来ました。今後も「音楽あふれるまち とよなか」を推進していきます。</p> <p>○世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭では、岩手県大槌町から大槌こどもオーケストラの参加があり、新たな繋がりが出来ました。今後も様々な主体と協働し、庄内地域の活性化をめざします。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	目標	とよなか音楽月間の参加人数（オンライン視聴者数含む）	担当者集計	人	54,103			数値	増加
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	文化財保護事業	区分	拡充
施策の方向性	(1)文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めま	総合計画掲載ページ	88
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課	100102 文書館 210100 魅力文化創造課		

事業概要	<p>○市内の文化財の保護のため、国史跡桜塚古墳群や春日大社南郷目代今西氏屋敷、国名勝西山氏庭園などの維持管理を行います。</p> <p>○郷土の歴史・文化財に対する市民の理解と関心を深め、次世代へ継承するために発掘調査や、古文書・民俗資料などの収集・調査・整理等を行います。</p> <p>○豊中市の歴史・文化を広く親しめる場として、豊中市立郷土資料館を開設し、管理・運営します。</p> <p>○豊中市文化財保護条例に基づき、文化財保護審議会を運営します。</p> <p>○国名勝西山氏庭園の保存・活用の方向性を検討するため、国名勝西山氏庭園保存整備委員会を運営します。</p>
当該年度の実績	<p>○国史跡桜塚古墳群や春日大社南郷目代今西氏屋敷、国名勝西山氏庭園等、市内の文化財及び施設14か所の維持管理を実施しました。また、国史跡小石塚古墳において、危険木伐採を実施しました。</p> <p>○市内の埋蔵文化財包蔵地において、3件の緊急発掘調査を実施しました。このうち、本町遺跡第45次発掘調査の現地説明会では、1800人が見学に訪れました。</p> <p>○郷土資料館の開設に先立つプレ展示を文化芸術センターで行い、236人の入場者がありました。</p> <p>○【新規】郷土資料館について、4月より建物等の修繕や設備の更新及び展示設備等の設置を行い、11月に開館しました。開館後は、開館記念講演会や学芸員による展示解説、企画展示等を行い、3月末までに3,138人の入場者がありました。</p> <p>○市内の文化財に親しむ機会として、国名勝西山氏庭園・府指定旧新田小学校校舎において、一般公開を実施しました。この他出前講座や文化財施設の見学対応を随時実施しました。</p> <p>○豊中市文化財保護審議会を開催しました。</p> <p>○西福寺所蔵絵画の伊藤若冲筆「山水図」が国重要文化財追加指定とする答申が国文化審議会より出されたことにより、次年度以降、同図を国補助事業として修復するため、文化庁・大阪府と協議調整しました。</p> <p>○【拡充】国名勝西山氏庭園については、保存整備委員会及び建造物部会を計5回開催し、その審議に基づき、『名勝西山氏庭園（青龍庭）整備基本計画』を策定しました。</p> <p>また、同庭園及び国登録文化財西山家住宅について、これまでの災害及び経年劣化による損傷のうち、特に著しい箇所について緊急の保存修理を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○郷土資料館のより効率的な運営のためには、市内で分散収蔵されている様々な文化財を一元的に保存・管理が可能となる施設を、市南部の施設再編にあわせて確保する必要があります。</p> <p>○郷土資料館を広く活用されるようになるため、学校教育機関、社会教育施設、市内外の博物館施設・文化財行政機関、市民団体と共に積極的な連携を図りつつ、継続的に事業を実施していきます。</p> <p>また、愛称やロゴの募集とともに、ボランティア募集・育成も進めていくようにします。</p> <p>○国名勝西山氏庭園の本格的な活用には、その担い手の育成が必要です。</p> <p>○同庭園内建造物の緊急の保存修理が完了し、今後は「保存活用計画」及び「整備基本計画」に基づき、耐震補強を盛り込んだ基本設計・実施設計に取り組みます。</p> <p>実施設計策定後、庭園及び建造物の公開・活用のための整備事業に着手し、事業完了後、順次公開します。</p> <p>○市指定史跡原田城跡の安全対策事業を実施します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	増加
1	参考	指定・登録文化財の件数	教育行政方針	件	127	127	130	数値	増加
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
2	目標	文化財関連事業参加者数	教育行政方針	人	3,917	4,227	9,447	数値	15000
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
3	参考	文化財関連事業参加者のうち、「郷土資料館」の利用人数	教育行政方針	人	-	-	3,138	数値	9000
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
4	参考	啓発事業（主催・共催）実施件数	教育行政方針	件	14	46	76	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	㉑歴史・文化遺産の保護（保存と活用）と文化芸術の振興							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	文化財保護法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府文化財保護条例・大阪府文化財保護条例施行規則
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市文化財保護条例・豊中市文化財保護条例施行規則・名勝西山氏庭園保存活用計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	329,221	人件費（参考）	58,580	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△4,644	公債費（参考）	4,648	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	278,736	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	23,697
	決算額	265,930		地方債	16,800
	残額	12,806		その他 特定財源	284
	執行歩合	95.41%		一般財源	225,149

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		文化財の保護【継続】	8,472	1,544	0	6,928	01
	市有文化財等の維持管理【継続】	41,767	0	0	41,767	01	文化財保護費
	埋蔵文化財（補助）【完了】	0	0	0	0	01	文化財保護費
	文化財保護審議会【継続】	147	0	0	147	01	文化財保護費
	文化財調査【継続】	12,683	3,713	0	8,970	01	文化財保護費
	史跡今西氏屋敷整備【継続】	0	0	0	0	01	史跡環境整備費
	名勝西山氏庭園整備事業【拡充】	36,880	18,440	16,800	1,640	01	史跡環境整備費
	文化財保存修理事業【継続】	0	0	0	0	01	史跡環境整備費
	（仮称）郷土資料館施設運営【新規】	13,234	0	0	12,950	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館施設管理【新規】	26,793	0	0	26,793	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館車両管理【新規】	141	0	0	141	01	文化財保護費
	（仮称）郷土資料館整備事業【新規】	125,813	0	0	125,813	01	（仮称）郷土資料館整



4-3 健康と生きがいづくりの推進

誰もが学びや運動などの生きがいを通して、地域とつながり健やかで心豊かに暮らせるよう取り組みます

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)生涯を通した学びの機会の充実と成果を活かせる場や機会づくりを進めます	5事業
①学びの支援と学習機会の充実	
②地域における学習活動などの推進	
生涯学習事業	教育委員会 社会教育課
地域の知の拠点事業	教育委員会 読書振興課
コミュニティプラザ等施設管理	教育委員会 中央公民館
公民分館活動支援事業	教育委員会 中央公民館
公民館管理運営事業	教育委員会 中央公民館
(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます	4事業
①食育の推進	
②スポーツの推進	
③高齢者の介護予防の推進	
④高齢者の社会参加の促進	
スポーツの推進事業	都市活力部 スポーツ振興課
体育施設運営管理事業	都市活力部 スポーツ振興課
シルバー人材センター関連業務	市民協働部 くらし支援課
社会参加・生きがい推進事業	福祉部 長寿安心課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生涯学習事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	601300 教育委員会・社会教育課		
関連部局・課	160000 人権政策課 331000 障害福祉課 602100 中央公民館		

事業概要	<p>○すべての市民が人生を豊かに生きられるよう、市民の多様な学習意欲に対応し、生涯を通して学ぶことができる機会を充実させるとともに、それぞれの学びの成果を社会で活かす機会の創出や、社会教育に関わる団体・グループの人材育成を支援します。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者施設等における音楽・体育・書道・リズム体操・パソコン講習・華道・茶道・陶芸・絵画等の学習活動を支援するため、障害者青年教室補助事業を実施しました。</p> <p>○豊中・螢池の両人権平和センターで「識字教室」を、中央公民館で「学びの場」を実施しました。</p> <p>○豊中市人権教育推進委員協議会、豊中市PTA連合協議会及び豊中市婦人団体連絡協議会の活動を支援しました。</p> <p>○社会教育委員会議で「豊中市の社会教育のあり方検討」について議論・意見をいただき集約しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○障害者青年教室補助事業は、障害のある青年の学習活動を側面的に支援しました。今後も継続し、障害のある青年の文化教養の向上と生活に必要な知識・技術の習得に側面的に貢献します。</p> <p>○識字教室は、すべての人の人権が尊重される社会の確立と、生活と文化の向上を図る一助となりました。今後も継続実施していきますが、学習者の背景や年齢・国籍などが異なるため、それぞれのニーズに応じた効果的な教材の提供が必要です。また、受講者同士、講師同士が情報交換・交流を深め、課題解決に向けた意見交換する場として、識字・日本語豊中連絡会を継続的に開催する必要があります。</p> <p>○社会教育団体の活動を支援することにより、各団体及びその構成員による学習活動や社会貢献活動が促され、地域における社会教育活動が推進されました。今後も時代の要請にあった活動と自主的な団体運営ができるよう、引き続き助言と支援を行います。</p> <p>○集約した「豊中市の社会教育のあり方」に基づき、社会教育のコーディネーターとして、情報の集約と拡散を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	障害者青年教室補助事業	担当課調査	団体	17	16	18	数値	
		考え方、定義、算出方法など	対象団体を支援する数値						
2	参考	識字・日本語豊中連絡会開催回数	担当課調査	回	0	0	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	社会教育委員会議実施回数	担当課調査	回	2	2	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域の知の拠点事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	601700 教育委員会・読書振興課		
関連部局・課	360100 こども政策課		

事業概要	<p>○すべての市民に知る自由を保障するため地域の知の拠点としての役割を果たします。</p> <p>○読書を通じて豊かな感性と自ら学び主体的に生きる力を育てよう、子どもの読書環境を整備します。</p> <p>○「協働とパートナーシップに基づくまちづくり」に取り組む観点から、地域社会の課題解決とコミュニティの活性化に寄与するため市民と協働して事業に取り組みます。</p> <p>○全地域で図書館サービスを実現するため、動く図書館車などの車両を適切に管理します。</p> <p>○社会状況やニーズの変化に対応した持続可能な図書館サービスを提供するため、(仮称)中央図書館基本構想をふまえ、中央図書館の候補地および事業手法、図書館の効率的・効率的運営や市内図書館の新たなネットワーク再編について具体的に検討を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○地域の知の拠点として、あらゆる世代の学びを支える資料の充実と情報提供に取り組むとともに、暮らしの課題解決に役立つ資料・情報の提供を行いました。</p> <p>○【拡充】電子書籍貸出サービスを開始し、図書館への来館が困難な市民に対しても図書館の利便性を高めるとともに、音声読み上げ対応のコンテンツ等の導入により読書バリアフリー法に対応した資料・情報提供に取り組みました。</p> <p>○関係部局や複合施設内で連携して関連資料の紹介・展示を実施し、市立図書館における情報リテラシー支援に取り組みました。</p> <p>○ボランティアによる対面朗読や音点訳の障害者サービス、北摂アーカイブスやしようないREK、地域教育協議会等との協働・連携事業を実施しました。</p> <p>○豊中市立図書館みらいプランの策定に向けて、(仮称)中央図書館の候補地を3か所選定しました。また、市民ワークショップを全4回実施し各回約25人、シンポジウムを開催し会場62人、オンライン46人の計108人参加しました。さらに、パブリックコメントを実施し203人・681件の意見をいただき、みらいプランに反映し策定しました。</p> <p>○【拡充】蛍池図書館に予約照会機を追加導入し、予約資料受取コーナーを開設しました。</p> <p>○庄内・庄内幸町図書館の図書などを庄内コラボセンターに移設し、リニューアル開館をしました。</p> <p>○岡町、野畑図書館の空調の不具合により、一部のエリアにおいて臨時休室の措置や扇風機を使う、利用時間の短縮を呼びかけるなどを行い、夏や冬の冷暖房時を乗り越えました。</p> <p>○図書館協議会を3回開催し、図書館の読書バリアフリーの取組みについて審議しました。また図書館協議会の評価部会を4回実施し、5年に1度の図書館評価に係る審議を行いました。</p> <p>○「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を豊子連と共催で開催しました。</p> <p>○ブックスタート事業のボランティアスタッフ研修と懇談会、新しい施設の見学とスタッフミーティングを実施し情報共有しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○電子書籍貸出サービスの利用状況やニーズを把握し、サービスの充実を図ります。児童向けや外国語資料等のコンテンツの更なる充実をめざします。</p> <p>○市民の学びを支援するための学習の場や、地域のつながりの創出、地域の生涯学習の担い手を育てる仕組みの構築等推進するとともに、学んだ成果を主体的に地域づくりや市民活動に活かす取組みを進めます。</p> <p>○今後の図書館について、様々な機会において市民から多くの意見をいただくとともに、市の考え方を周知することができました。今後も豊中市立図書館みらいプランに基づいて、市民と共有を図るとともに、(仮称)中央図書館の整備に向け取組みを進めます。</p> <p>○岡町、野畑にかかる空調の不具合に対して、7月臨時会、9月定例会にそれぞれ必要な補正予算を計上しました。また、空調更新工事に先立ち、必要な外壁材調査も実施しました。空調更新工事は岡町は5月末、野畑は7月中旬を目途に実施し、工事期間中は休館しますが、資料の受取・返却などの可能なサービスを継続します。</p> <p>○セルフ機器をはじめとしたICTの活用による業務の効率化と利用者の利便性の向上を進めます。</p> <p>○新しく図書館を開館し来館者数も増えましたが、施設内の各団体と連携をはかり事業を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	市民一人当たり貸出冊数	豊中市の図書館活動	冊	6.7	7.9		9	令和4
	考え方、定義、算出方法など	住民の知る権利を保障し、住民の学ぶ意欲を示す図書館における代表指標。自治体間比較ができる指標							
2	目標	図書館Webサイトの公開トップページのアクセス件数	豊中市の図書館活動	件	2,224,637	2,489,071		2,500,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	高度情報社会で図書館が提供するデジタル情報の活用を示す一指標							
3	目標	児童書の蔵書数	豊中市の図書館活動	冊	302,495			330,000	令和4
	考え方、定義、算出方法など	乳幼児・学童期・青年期の読書活動と子どもたちの読書活動を支える住民等への情報資源							
4	目標	地域の活動団体・グループとの共催・協力事業 実施回数	図書館評価システム	回	169			760	令和4
	考え方、定義、算出方法など	協働により地域ニーズを把握しておこなう事業数							
5	目標	「とよ1ぶつくる」 出動実績	担当課調査	箇所	265		232	300	令和4
	考え方、定義、算出方法など	図書館におけるアウトリーチサービス（全域サービス）を示す一指標							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コミュニティプラザ等施設管理	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	<p>コミュニティプラザにおいては、地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供し、生涯学習の振興を図ります。 コミュニティルームにおいては、学校の余裕教室を地域の諸活動の場として活用することにより、地域諸団体の活動拠点を確保し、併せて生涯学習・コミュニティ活動の推進を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後も、地域住民の学習・交流・その他の地域活動を行う場を提供し、生涯学習の一層の振興を図る必要があります。</p>
----------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	大池コミュニティプラザ利用回数	市政年鑑	回	671	489	688	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	中豊島コミュニティプラザ利用回数	市政年鑑	回	58	55	78	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公民分館活動支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	公民分館が主催する文化祭・体育祭などの行事や各種講座の実施、市ホームページを活用した取組内容の発信など、公民分館活動全般への支援を行います。 また、全公民分館で組織された公民分館協議会の事務局を担い、公民分館間の情報共有や意見交換の推進を支援します。
当該年度の実績	○公民分館が実施する文化祭、体育祭や各種講座、分館だよりの発行や市ホームページを活用した取組み内容の発信など、分館活動全般への支援を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○次の担い手の不足や、企画運営に携わる人材が固定化されてきています。
------------------------------	------------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	公民分館行事・講座実施回数	市政年鑑	回	10,653	101	293	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	関連会議実施回数	市政年鑑	回	5	7	13	数値	
	考え方、定義、算出方法など 公民分館協議会、公民分館協議会役員会、研究大会・研修会の合計回数								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公民館管理運営事業	区分	継続
施策の方向性	(1)生涯を通じた学びの機会の充実と成果を生かせる場や機	総合計画掲載ページ	90
担当部局・課	602100 教育委員会・中央公民館		
関連部局・課			

事業概要	全ての市民を対象に社会教育の推進と生涯学習の振興を図るため、市民一人ひとりの教養の向上・健康の増進・生きがいつくりなどに接する機会を提供するとともに、社会教育関係団体、地域諸団体、自主学習グループなどの活動の場と機会を提供します。また、これらの活動の場を維持するため、公民館施設の管理を行います。
------	--

当該年度の実績	<p>○公民館の施設等の運営管理を円滑に行うことにより、社会教育の推進と生涯学習の振興を図りました。</p> <p>○【新規】中学生を対象に生徒一人ひとりの学習理解状況に応じた個別最適な学びを実現するため、放課後や土日を活用しながら自宅学習を支援する放課後・土日学習支援モデル事業を、民間教育機関の社会資源を活用し中央、千里、庄内の公民館3館で実施しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○経年劣化がある施設については、設備更新が必要です。</p> <p>○中学生を対象とした放課後・土日学習支援事業について、令和5年度は対象を市立全中学校及び義務教育学校後期課程に拡大し、1人あたりの支援回数を増やします。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	参考	公民館利用者数	市政年鑑	人	162,611	204,595	296,881	数値年	440,000 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	点検及び評価報告書（令和4年度実施分）に記載の目標（数値・年度）とした。							
2								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	社会教育法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	公民館条例、施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	124,498	人件費（参考）	72,646	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	732	公債費（参考）	7,786	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	141,927	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	131,348		地方債	0
	残額	10,579		その他 特定財源	34,861
	執行歩合	92.55%		一般財源	96,487

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		社会教育関係団体の支援【継続】	743	0	0	743	01
	課題別講座【継続】	722	0	0	722	01	公民館費
	次世代育成講座【継続】	311	0	0	310	01	公民館費
	地域魅力発信・地域連携講座【拡充】	5,519	0	0	523	01	公民館費
	中央公民館施設管理【継続】	41,873	0	0	26,607	01	公民館費
	螢池公民館施設管理【継続】	63,438	0	0	52,077	01	公民館費
	庄内公民館施設管理【継続】	7,770	0	0	6,666	01	公民館費
	千里公民館施設管理【継続】	0	0	0	0	01	公民館費
	中央公民館車両管理【継続】	189	0	0	189	01	公民館費
	庄内公民館車両管理【継続】	211	0	0	211	01	公民館費
	千里公民館車両管理【継続】	213	0	0	0	01	公民館費
	螢池公民館車両管理【継続】	217	0	0	217	01	公民館費
	中央公民館施設運営【継続】	2,365	0	0	2,144	01	公民館費
	螢池公民館施設運営【継続】	1,487	0	0	728	01	公民館費
	庄内公民館施設運営【継続】	613	0	0	598	01	公民館費
	千里公民館施設運営【継続】	949	0	0	24	01	公民館費
	中央公民館設備更新事業【新規】	4,256	0	0	4,256	01	公民館整備費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（庄内公民館）【新規】	472	0	0	472	01	公民館費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	スポーツの推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	211000 都市活力部・スポーツ振興課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市のスポーツを推進するために、スポーツ推進審議会を設置し、スポーツに関する重要事項を調査審議します。</p> <p>○市民がスポーツの多様な効果・効用を一層享受し、豊かな生活を営むことに資するために、市民の参画と多様な主体との協働により、効果的な取り組みを実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○スポーツ推進審議会を3回実施し、第2期スポーツ推進計画を策定しました。</p> <p>○豊中スポーツ魅力発信事業を実施した体育連盟の各競技団体ほか18団体に対して、900,000円の補助金を支給しました。</p> <p>○国際および全国スポーツ大会参加報奨金支給申込が73件あり、1,030,000円の報奨金を支給しました。</p> <p>○【拡充】スポーツ指導者養成講習会に20人、バスケットボールフェスタに51人、とよなかチャレンジスポーツフェスタに119人の参加がありました。また、子どもの基礎体力の向上をめざした「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」を市内4小学校で37回実施し、185人の申込がありました。</p> <p>○ニュースポーツデーを25回実施し、776人の参加がありました。</p> <p>○スポーツ施設情報システムで使用料金の設定変更を行いました。</p> <p>○スポーツ振興基金を活用し、「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」を実施しました。また、スポーツ振興基金を紹介するチラシやうちわを作成し、イベント等で配付しました。</p> <p>○旧庄内温水プール代替水泳教室事業は、経過措置として当時の受講者が一定期間、継続できるように始めたものですが、10年以上経過したことから、令和4年度末をもって終了しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○策定した第2期スポーツ推進計画に沿って、子どもが継続して取り組めるスポーツを体験する場等について審議していきます。</p> <p>○豊中スポーツ魅力発信事業を体育連盟の各競技団体などが実施し、若年層への競技スポーツの普及・振興、また、スポーツで本市の魅力を発信することができました。</p> <p>○国際および全国スポーツ大会参加報奨金の周知について、より効果的な方法を検討していきます。</p> <p>○指導者の養成や誰もがスポーツに親しむ機会の提供につながりました。また、「とよなかキッズ！あそび&スポーツ☆ぶろぐらむ」では、多様な運動プログラムを実践することで、子どもたちが楽しみながら体を動かす機会の提供につながりました。</p> <p>○誰もが気軽に参加できるニュースポーツの普及・振興につながりました。</p> <p>○引き続き、スポーツ施設情報システム利用者の利便性向上に向けて、システムの改修等を行っていきます。</p> <p>○チラシやうちわで「高校野球発祥の地豊中」をPRし、本市の魅力を発信することができました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	種目別講習会参加者数	担当課調べ	人	14	669	2,011	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
2	参考	報奨金支給件数	担当課調べ	件	24	51	73	数値	
	考え方、定義、算出方法など		台帳による						
3	参考	市民大会、後援事業の延べ利用者数	担当課調べ	人	7,236	17,651	23,078	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
4	参考	スポーツ振興会の実施事業の延べ利用者数	担当課調べ	人	1,158	1,261	1,844	数値	
	考え方、定義、算出方法など		実績報告による						
5	参考	システムの延べ利用者数	担当課調べ	人	1,832,457	2,163,153	1,996,406	数値	
	考え方、定義、算出方法など		システムより出力						

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	体育施設運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	211000 都市活力部・スポーツ振興課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課		

事業概要	<p>○スポーツ活動の場を提供することを通して、市民の健康といきがいに寄与するために、屋内及び屋外体育施設に係る指定管理者を通じた適切な管理運営並びに同施設の建物や設備の維持補修・工事等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○指定管理者との連絡調整やモニタリング、評価を行いました。 ○グリスポピア2022では、グリスポMAX（スポーツイベント）、お城造りのワークショップ、建築模型ワークショップ、籠城キャンプ、朱雀大風展、施設のライトアップなどを実施しました。また母の日似顔絵展、クリスマスリース作りなどのシーズンイベントも実施しました。 ○体育施設の修繕等を行いました。 ○武道館ひびき整備事業において弓道場防矢ネット設置工事を実施しました。 ○柴原体育館整備事業において特定天井の耐震化工事を実施しました。 ○庄内体育館整備事業において空調等設置工事に向けた実施設計を行いました。 ○豊中ローズ球場整備事業において大規模改修工事に向けた実施設計を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○民間活力を導入することで、指定管理者から利用者の声を反映する提案（教室のWEB申込みや、プール混雑時の待ち時間の表示など）を実施し、利用者サービスの向上につながりました。また、小学生の体育施設の個人使用料を無償にするなど、体育施設の利用を促進し、子どもの運動機会の増加に取り組みます。 ○グリーンスポーツセンターにおいては、大学や企業、地元団体と協力し様々な知見を得たことで、グリスポピア2022だけでなく、シーズンイベントを実施し、一年を通じた地域の賑わいを創出できました。 ○体育施設の修繕を行い、安心・安全な環境を整えました。 ○武道館ひびき整備事業における弓道場防矢ネット設置により近隣への矢の飛出しを防止することができました。 ○柴原体育館整備事業における特定天井の耐震化工事により施設利用時の安全性の向上を図ることができました。 ○庄内体育館整備事業、豊中ローズ球場整備事業については、令和6年12月の供用開始に向けて令和5年11月から工事に着手します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	屋内体育施設延べ利用者数	担当課調べ	人	470,385	476,567	767,734	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	屋外体育施設延べ利用者数	担当課調べ	人	255,617	288,393	322,057	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	シルバー人材センター関連業務	区分	継続
施策の方向性	(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が培ってきた経験や能力を生かせるために、就労の機会を創出し、生涯を通じて健康で生きがいをもって暮らせる環境づくりを進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○市の労働政策と整合を図ったシルバー人材センターの事業運営に対する補助を行いました。</p> <p>○定年年齢の引き上げによる会員の高齢化やインボイス制度など、社会情勢の変化に伴う対応について、シルバー人材センターと意見交換を行い、今後の支援策を検討しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○定年年齢の引き上げによる会員の高齢化やインボイス制度など、社会情勢の変化に伴う対応がシルバー人材センターに求められていることから、同センターが今後の方向性を決定するにあたり、支援や意見交換を行いました。</p> <p>○今後も引き続き、デジタル化の推進など事務の効率化や就業開拓強化等に向けた支援を行ってまいります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	就業延べ人数	シルバー人材センター	人	177,965	181,768	175,138	数値	
	考え方、定義、算出方法など	就業に結び付いた延べ人数							
2	参考	契約件数	シルバー人材センター	件	4,000	3,894	3,728	数値	
	考え方、定義、算出方法など	会員の就業先となる事業者との契約件数							
3	参考	会員数	会員数	人	1,726	1,613	1,646	数値	
	考え方、定義、算出方法など	センター会員数							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	社会参加・生きがい推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生涯を通じて、健康で生きがいをもって暮らせる環境づくり	総合計画掲載ページ	91
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が地域社会とつながり活躍できるよう、生活機能レベルやニーズ等に応じた多様な社会参加を促進するとともに、地域活動の担い手となるボランティア・社会貢献活動を支援することで、高齢者の生きがいづくりに寄与します。</p>
当該年度の実績	<p>○施設の管理、保全を行うとともに、地域団体等(社会福祉協議会・老人クラブ・住民参加型NPO)への運営費用に関する補助を行い、活動を支援しました。 ○美化活動、雑巾づくり、友愛訪問の社会奉仕活動を行う団体に助成しました。 ○公衆浴場や障害福祉センターひまわりなど、介護予防に資する健康体操等の事業を実施しました。 ○南部コラボセンター開設にむけて、介護予防センターの移転作業を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○高齢者の多様な活動を支援することで、社会参加を促進するとともに、生きがいづくりにつなげることができました。 ○介護予防事業の整理を行い、街かどデイハウス介護予防教室は令和4年度末で終了しました。 ○今後も事業の見直しを行うとともに、高齢者の社会参加につながる多様な活動を支援していきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	老人憩の家指定箇所（施設）	担当課調査	団体	16	16	15	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	単位老人クラブ会員数	担当課調査	人	7,684	7,016	6,141	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	敬老の集い参加者数	豊中市社会福祉協議会	人	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	金婚祝意事業対象者数	担当課調査	組	255	151	231	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

